

文教大学 情報学部 情報システム学科

「ぶんきょう大学」と電話で伝えると、十中八九は文
京大学と書かれてくる。文教大学情報学部と書いても、
返信には立教大学と書いてくることもある。ある学会の
会員データベースには立教大学と入力されてしまった。
4年制大学としては1966年に発足し、主軸の教育学部は、
小中高の教員畑では知られているが、一般には、本学の
どの教職員も学生も上のようなことを経験している。

この文教大学が、情報学部という学部名を全国で始め
て使ったユニークな学部を1980年4月に広報学科、経営
情報学科の2学科で設置した。

広報学科……マスコミ（放送、新聞、出版）とPR
経営情報学科……経営学と情報学のドッキング

経営情報学科を作り上げた1人がOR学会のやや古く
からの会員方にはおなじみの原野秀永教授。替え上着で、
欠けた前歯にいつもタバコを挟んで吸っていたあのお父
さんです（トレードマークのタバコはどんな都合か廃止
（禁煙）した）。文科系学部での経営情報学科は今でこそ
珍しくないが、「情報学は工学で文系ではない」と主張す
る文部省の委員の先生と原野先生が設置の過程で論争し
た、という語り草があるくらいだ。

当初は他の学部がある越谷に設置したが、85年に茅ヶ
崎市の赤煉瓦造りの湘南キャンパス（小田急湘南台また
はJR茅ヶ崎駅からバスで20分）に移転した。OR学会
87年秋の大会には300人余りにおいでいただいた。

そして1985年には、情報システム学科、という再び本
邦初登場の名前の学科、を増設した。この学科は文系の
高卒生を、システムプログラマやシステムエンジニアに
育て上げようとしている。コンピュータの利用の場面では、
文系的発想の仕事やシステムも多いわけで、プログラマ
やSEを理工系の仕事と限定することはない。しかし、
コンピュータ、コンピュータと言って入学してきても必ず
しも適性ではない学生もいる。日本の制度では彼らを放り
出すわけにはいかないので、ユーザーの側でのサポート
などができる者となれる道も考えている。

コンピュータ教育、特に利用にからまるSEの教育で
大事なことは、コンピュータ（のハード、ソフト）その
ものの教育に加えて、コンピュータを応用する分野の知

識と応用の方法論がバランスよく教育されることであろ
う。その応用分野や方法論をサポートするのがOR関係
の教員の重要な任務と考えられている。

その教員を紹介する。理論物理を専攻したが、どうい
うわけか未来工学研究所では社会工学的なプロジェクト
などにたずさわっていた吉井博明教授は、もっか地震等
の防災の問題を研究している。OR屋さんではないが経営
情報システム、プログラム言語等の広内哲夫助教授も
学会員。この2人は原野教授とともに経営情報学科設置
当時から在職してシステム学科に移籍した。電力中研の
経済研究所にいて今は経営管理論、産業組織論等を担当
している富田輝博教授と、管理工学科、管理科学科とい
う学科を全国で初めて使った大学等に在職しており、ま
たまた新名称の学科に来て目下はAHPの旗を振ってい
る真鍋は、この学科の新設時に加わった。

この情報学部では全学生に必修の専門科目がある。ひ
とつは1年生の「情報概論」で、情報が社会でどう使わ
れどんな役割を果しておりわれわれにどう影響をおよぼ
しているかを論じており、4年間の導入となっている。
また、経営情報、情報システム学科だけでなく、広報学
科の学生も計算機の入門を勉強することになっている。

情報システム学科のOR関係の授業科目としては次の
ようなものがカリキュラムにある：

1年：システム論

2年：ORI、OR演習、社会システム論、経営管理
論

3年：システム設計、経営情報システム、会計情報シ
ステム、データ解析

4年：オペレーションズ・マネジメント、シミュレ
ーション、管理工学、ORII、情報化社会論

この学科以外にもOR学会員がいる。経営情報学科の
永井純一教授は、銀行の調査研究部門におられた方で、
統計学や経済学科のOR、電算機演習を担当、また竹田
仁講師は待ち行列が専門であるが、所属する広報学科の
計算機教育を担当している。（真鍋龍太郎）